

# 恵 Keiju 寿

先端医療から福祉まで「生きる」を応援します

2017年 新年のご挨拶

けいじゅヘルスケアシステム  
理事長

神野 正博

講演レポート

『平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond』

厚生労働省 鈴木保険局長講演

特集

内から外から 進化する内視鏡・腹腔鏡



二〇一七

迎

ひと、くらし、みらいのために  
「生きる」を応援します。

春

## 新年あけましておめでとうございます。

昨年は、熊本の震災を憂い、リオオリンピック日本選手団の活躍に歓喜し、また英国のEU離脱やトランプ政権の誕生といった利己主義の跋扈<sup>ばっこ</sup>に危機感を募らせました。けいじゅヘルスケアシステムでは、次の時代を見据えながら、これまでを支えていただいた多くの幹部職員に変わって、若い管理者を抜擢しました。また、恵寿総合病院ではこれまで構築してきたITシステムとコールセンターにおける取り組みで全国853のサービス産業企業の中で第2位となる日本サービス大賞総務大臣賞受賞の栄誉をいただきました。

さて、今年の干支「酉」の年は、商売繁盛の年といわれています。その心は、酉(トリ)は「取り込む」につながり、運氣とお客様を取り込めるからのようです。私たちが提唱する地域包括ヘルスケアシステムに地域住民の方を、仲間となる機関を取り込み、医療介護福祉サービスの提供と同時に、これからの生活の質、生命の質(QOL: Quality of Life)を向上させるサービスを提案できる年にしたいと思います。

今年も、けいじゅを進化させます。応援をよろしく願います。



けいじゅヘルスケアシステム

理事長

神野 正博



## 講演レポート： 平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond

### 厚生労働省 鈴木保険局長講演開催

2016年6月に厚生労働省保険局長に就任した鈴木康裕氏による講演「平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond」(主催＝能登地域医療研究会)が12月3日七尾美術館アートホール(石川県七尾市)にて開催されました。保険局とは診療報酬改定に係る最高機関です。過去には介護報酬を担当する老健課長も務められた、医療・介護のエキスパートである氏の講演概要を報告します。



鈴木 康裕 すずき やすひろ  
厚生労働省 保険局長

#### 2025年問題について

すべての団塊の世代が75歳以上になる2025年には医療・介護の需要が2倍になると予測されています。それをどう乗り切るか、技術の進歩や効率化はあったとしても高齢者を支える労働人口の減少は避けきれない事実です。日本はOECD加盟諸国中もっとも平均寿命が長く、低負担で良い医療・福祉サービスを提供しています。これは医療従事者の自己犠牲の上で成り立っていた側面もあるかと思えます。

高齢社会、高額薬の問題も含めて40兆円を超えた医療費は、これからはみんなで負担をどう分かち合うかだと思えます。ですから、なるべく痛みを感じないような制度にしなければなりません。ただ、高齢者の定義は65歳以上です。今の65歳と30年前の65歳は違いますよね。ですから仮に労働人口を75歳までとすると決して暗い話ではありません。

#### 日本の医療の課題とは

厚生労働省の調査によると患者さんの半数は高血圧、糖尿病、高脂血症であることがわかっています。これらは放置すると脳卒中や心臓病、透析が必要になる病気です。このような数の多い患者さんにどうアプローチするかが今後の課題です。医師が最初にきちっとした治療計画を立て、医師以外の職種が運動指導や栄養指導をしてチームで患者さんを診て

いくことが必要となります。医師・看護師は早急に増やすことはできません。ですから医師・看護師にしかできない仕事に特化させて、それ以外の業務は別の職種に移転してチームで連携しながら診ていかないとたち行かなくなります。

#### 将来に向けて

最後に、将来に向けての私見を述べます。まず診療報酬は結果に基づく評価がより必要です。従来のように看護師を多く配置している病院を評価するとか、手術後合併症で再手術をして2回分の報酬が請求できるといった現行の制度ではなく、重症の患者さんをきちんと診て病気が治ったか、在宅に帰ったかなど結果に基づく評価にしなければなりません。

また、ICTを推進し医療の標準化・効率化を図ります。これにより術後感染予防の抗生物質を必要以上に使用しているか病院間比較ができ無駄な投薬も減らすことができます。

保険については、個人が背負いきれなくなった部分をしっかり医療保険でカバーし、それ以外の部分の給付率を下げる方法を国民の皆様にご議論していただく必要があると思います。

今は高額な抗がん剤も一般薬も一律3割負担ですが、将来的には給付率を変えていかななくてはならないかもしれません。このように無駄の排除と効率化を徹底的にしなければならぬと考えています。

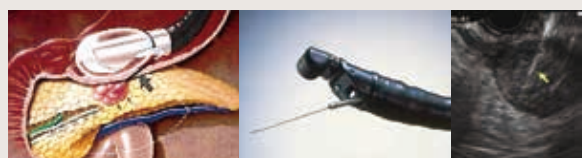


消化器内科  
副病院長・内視鏡部長・科長  
Best Doctors in Japan 2016-2017 に選出  
**瀧崎 宇一郎** Fuchizaki Uichiro



カプセル内視鏡

小腸内視鏡



超音波内視鏡ガイド下穿刺吸引術 (EUS-FNA)



LECS (腹腔鏡・内視鏡合同手術)

## 進化する内視鏡・腹腔鏡

消化器疾患の検査や治療方法は近年目覚ましく進歩し多様化している年度から新体制となり力を入れている腹腔鏡についてそれぞれ消化

### 一 恵寿の内視鏡の特徴についてお聞かせください

当院の内視鏡件数は2014年以降1万件を超えており、昨年は約1万1千件でした。上部から下部すべての消化管検査が可能な最新の機器による全消化管内視鏡検査システムを導入しています。今まで検査が難しいとされていた小腸に対してもカプセル内視鏡とバルーン内視鏡検査を早い段階から導入し、全小腸内視鏡の診断・治療が可能になっています。また消化管出血や食道静脈瘤破裂など緊急を要する状態に対しては24時間365日迅速に対応できる体制を整えています。

### 一 内視鏡というと苦しいイメージがあります

鎮静剤を積極的に使用しできるだけ苦痛の少ない検査を目指しています。

### 一 では、特に力を入れている分野についてお聞かせください

最近、特に胆膵系の病気に対する検査・治療に力を入れています。能登地域は高齢化に伴い総胆管結石症例が多く、治療総数では全国的にみても屈指の件数です。なかでも近年急速に進歩しているのが超音波内視鏡です。内視鏡の先端にある超音波端子で消化管の中から膵腫瘍、粘膜下腫瘍やリンパ節を観察・組織採取することにより正確な病理診断が可能になりました。

### 一 今後の展望、読者へのメッセージがございましたらどうぞ

繰り返しになりますが、当院ではできるだけ苦痛が少なく診断精度の高い検査を行い、安心して検査・治療を受けていただけるように心がけています。早期発見・治療を行えばより簡単に短期間の治療で済みますから、皆様にはぜひ定期的な健診を受けるようにしていただきたいですね。



# 外

## Laparoscopy から

ます。今回の特集では恵寿総合病院の特徴である、内視鏡そして今  
器内科・瀧崎医師、消化器外科・佐藤医師に聞きました。

### —腹腔鏡手術とはどんな手術ですか？

腹壁に5mmから1cm程度の小さな穴を複数箇所あけ、そのうちの  
一つから細長い筒状の観察用の器機（腹腔鏡）を挿入し、腹腔内を  
外部の大きなモニター画面で映します。そして、他の穴から挿んだり、  
切ったり、血を止めたりする器具を挿入、操作することで行う手術で  
す。一般的に、同じ術式であれば開腹術に比べて難易度が高く手術  
時間が延びますが、様々な利点があることから広く行われている術式  
です。

### —開腹手術と比較してメリットを教えてください

術後の痛みが少ない、傷が小さい、術後腸閉塞の原因となるような  
腹腔内の癒着が減る、入院期間が短い、社会復帰が早い、などがあ  
ります。我々術者側には開腹術にはない高い技術が要求されますが、  
肉眼では視認できないような細かな脈管、神経等の構造物が観察で  
き、より精度の高い安全な手術を行うことが可能になります。それが質  
の高い手術を受けられるという患者さんへのメリットにつながります。

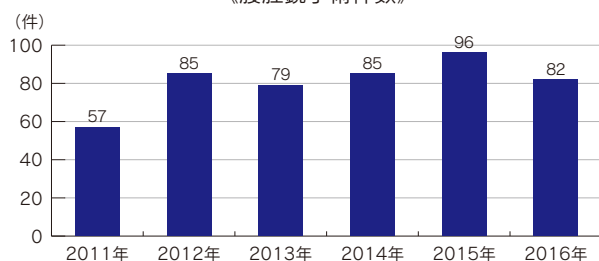
### —どんな病気が腹腔鏡手術で治療できるのでしょうか？

当科で扱う臓器は胃・小腸・大腸などの消化管、胆嚢、肝臓、膵  
臓、脾臓等ですが、それら臓器のほとんどで標準的な術式はもとより、  
難易度の高い疾患に対しても開腹術と同等あるいはそれ以上に、身  
体に負担が少なく安全で質の高い手術を行えると判断した場合は、  
積極的に腹腔鏡手術を行っています。頻度の高い疾患は、胃癌・  
大腸癌等の悪性腫瘍、胆石症・虫垂炎・鼠径ヘルニア・腸閉塞等の  
良性疾患です。

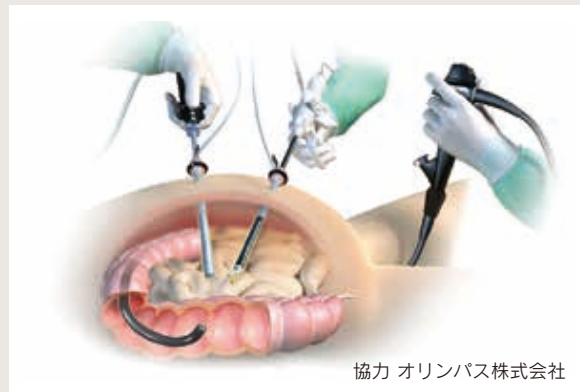
### —手術を受けるにあたっての注意点はありますか？

腹腔鏡手術を受けることができるかどうか、治療方針について疑  
問点などがありましたら、担当医や医療スタッフに遠慮なくお尋ね下さ  
い。

《腹腔鏡手術件数》



※2016年度は4月～10月合計



## 消化器外科



消化器外科  
科長

佐藤 就厚 Sato Nariatsu

## 医療法人社団 安田医院

内科

### Profile

理事長

安田 紀久雄 先生

やすだ・きくお

1976年3月 信州大学医学部卒業  
 1976年4月 金沢大学第二内科入局  
 金沢大学附属病院、高岡市民病院、  
 舞鶴共済病院、福井循環器病院、  
 厚生連高岡病院、北陸中央病院などの勤務を経て  
 1988年4月 安田医院勤務  
 2010年9月 安田医院理事長



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～ 12:00	○	○	○	○	○	○	/
13:30～ 18:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木・土曜日午後／日・祝



〒929-1604  
 石川県鹿島郡中能登町能登部下105-4-1  
 TEL 0767-72-2027

江戸時代から5代続く医家の名家、中能登町の安田医院を訪ねました。

患者さんの中には先々代の安田先生から3代続けて、かかりつけとなっている方もいらっしゃるそうです。

#### 一貴院の特徴についてお聞かせください。

すべての病気の相談に乗ってあげられるようなクリニックでありたいと思っています。わからなければ自ら調べたり、必要であれば詳しい先生に紹介しています。インターネットがない時代は、専門外の患者さんが時間外に来院した際、各診療科が揃っている大学病院の当直医に問い合わせ、情報を得て対応したこともあります。

#### 一これからの在宅医療で必要と思われることはありますか。

医師一人で、在宅患者さんを診ることは困難ですから、多職種連携が必要だと思えます。中能登町は私が主宰している在宅医療連携グループ「あじさい会」があり、顔の見える関係ができています。また、在宅診療をおこなう医師が増えることを願っています。在宅診療を始めるきっかけとしては、自院に通院している患者さんが、通院困難となったのを機会に開始するのがしやすいかと思っています。

#### 一先生が診療で心掛けている点をお教えてください。

いつも患者さんに感謝することです。数ある医療機関の中から当院に来ていただいているので「ようこそ、ありがとう」という気持ちです。これと共に、本来の医療についても的確な診断とともに、新しい治療などの情報を提供してあげられるように日々勉強するという意識もっています。

#### 一目指している医療はありますか。

「だまびた（黙って座ればびたりと当てる）」を目指しています(^^)。病気の診断は、問診で80%以上付くとされています。患者さんが診察室に入って来た時の歩き

方から顔つきまでよく見て、それで診断が付く病気もあります。やみくもに検査に頼って自分の五感や問診をおろそかにするのはなく、ある程度想定する診断を考えて、それに対して検査をするようにしています。ドクターGのようなカリスマドクターになりたいものです。

#### 一最後に、地域の皆さんへメッセージをお願いいたします。

まず、ご自身の健康についてももう少し関心を持っていただきたいです。また、自身の終末期について、最期はどのような形で終えたいか元気なときから考えてほしいのです。「エンディングノート」のようにある程度形に残して家族に知らせることで、無駄な延命治療が避けられます。

さらに、将来は一人の高齢者を一人の若者が支える「肩車型」社会になってきますので、現在元気な高齢者は支える方へ回って、社会に大いに役立つ人材になってほしいですね。それにより支えられる方も助かりますし、支える方も生きがいになって老化予防や健康保持にもつながりますので、ぜひ意識してやってほしいと思います。





ちちお

## プロフェッショナル集団を まとめています

森下 毅

MORISHITA TSUYOSHI  
【恵寿総合病院 事務長】

病院事務部は「フロント」「会計」「医療福祉相談」「病院管理」「医療秘書」「統計業務」「コールセンター」「地域連携」など事務に関わるプロフェッショナル集団です。最近では「看護師特定行為研修センター」「国際連携」など新たな業務も加わっています。私はそれぞれの業務を横でつなぎ、組織をマネジメントしていきたいと思っています。

### サービス向上とやりがいのある職場を目指して

事務方、特に「受付」は患者さんやお見舞いの方が病院に来て最初に接する職種です。地域の皆様から選ばれる病院になるためにさらなるサービスの向上を図ってまいります。今後は、裏方的なイメージのある事務という仕事をもっと表舞台に立っていける職種であるということをアピールしていきたいです。



【大切な仕事道具】  
スケジュール管理を徹底するための「手帳」と、早く多くの人に名前を覚えていただくための「名刺」を常に持ち歩いています。



### 【森下さんの職場】

9月に放射線技師長から事務長職を拝命しました。今は業務を掌握するのに精いっぱい毎日です。

### 恵寿総合病院事務部とは…

主に患者・利用者さんへのサービスを担当する「けいじゅサービスセンター」と医事会計や職員管理を行う「医療情報事務センター」からなる組織です。



ちちお がざり

## 安心・安全な 環境づくりを 目指して

山岸 博秋

YAMAGISHI HIROAKI  
【大成有楽不動産㈱  
恵寿総合病院 管理事務所 所長】

電気設備・空調設備・給排水設備の運用管理が主な業務です。例えば、エアコン、空調機などの保守点検やフィルター清掃です。職員間での「報告・連絡・相談」を徹底し、患者さんはもちろん、病院スタッフの皆さんにも快適に過ごしていただけるような環境管理を心掛けております。

### 改善意識を大切に

作業後に患者さんから「お仕事お疲れ様」と声をかけてもらえると、やりがいを感じるとともに励みになります。今後の目標は、地球温暖化対策の一つとして、病院での使用電力や重油の使用量を少しでも減らす工夫や提案を考えることです。皆様の役に立つことができるようこれからも努力を積み重ねていきます。



【大切な仕事道具】  
電圧を測定するテスターです。電気トラブル時に大活躍します。




### 【山岸さんの職場】

いつも明るく元気な人ばかりです。毎日楽しく仕事をしています。

### 大成有楽不動産(株)とは…


恵寿総合病院内に事務所を配置し、24時間体制で法人内各施設の設備機器の保守管理、設備の点検や修理を行っている会社です。

本年9月9日、10日に金沢市で神野正博理事長が学会長、恵寿総合病院が開催事務局となって『第59回全日本病院学会 in 石川』を開催します。この学会は、全国から病院の管理者、スタッフなど3,000人以上が集い、サービス向上や病院のあり方、質の向上、運営、業務の効率化、技術革新の導入など広く議論いたします。9月9日(土)午後には市民公開講座も計画されています。



大変革前夜に挑め!

今こそ生きるをデザインせよ



第59回 全日本病院学会 in 石川

2017年9月9日(土)・10日(日)

[会場] 石川県立音楽堂 / ホテル日航金沢 / ANAクラウンプラザホテル 金沢 / 金沢市アートホール

[学会長] 神野 正博 (公益社団法人全日本病院協会 副会長・石川県支部 支部長 / 社会医療法人財団董仙会 理事長)

[副学会長] 藤井 久丈 (公益社団法人全日本病院協会 富山県支部 支部長 / 医療法人社団蔵聖会 理事長)

池端 幸彦 (公益社団法人全日本病院協会 福井県支部 支部長 / 医療法人池慶会 理事長)

[実行委員長] 菊地 勤 (医療法人社団博友会 理事長)

URL <http://ajha59ishikawa.jp/>



けいじゅヘルスケアシステム